

子どもの食糧支援 食糧でつなぐか輪さき区

取組の詳細については、ホームページにて紹介しています。

区社協
ホームページ



川崎区内外を通じて、さまざまな形で食糧支援の取組みに関わってくださっている方たちがいます。食糧の寄付やいただいた食糧の保管・管理、支援先への運搬などを地域の数多くの企業や社会福祉施設、団体、個人にお手伝いいただき、食糧支援を継続していくことができました。今後も本取組みにご賛同いただき、輪に加わり支えていただけの方が増えることを願っています。

企業・地域団体	社会福祉施設	個人
<ul style="list-style-type: none"> ■ 神奈川東部ヤクルト販売株式会社 様 ■ 日本ゼオン株式会社 様 ■ 味の素株式会社 川崎事業所 様 ■ JAせしサ川崎女性部川崎南支部 様 ■ 中央第2地区 民生委員児童委員協議会 様 ■ 大島5丁目町内会 様 ■ NPO法人 ファンズアスリートクラブ 様 	<ul style="list-style-type: none"> ■ かわさき地域生活支援拠点 たじま 様 ■ 馬島福祉会 特別養護老人ホーム大師の里 様 ■ 馬島福祉会 特別養護老人ホーム恒春園 様 ■ 中川徳生会 特別養護老人ホームピオラ川崎 様 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伊藤 久子 様 ■ 岡田 英樹 様 ■ 池田 ハルミ 様 ■ 松嶋 邦生 様 ■ 飯塚 歩 様 ■ 福福亭 様 ■ 田辺 ヒデ子 様

ご協力
ありがとうございます！



※令和7年4月～令和8年3月までにご協力いただいた方・団体等を掲載しています(順不同)

引き続きお米のご寄附のご協力をお願いいたします。

主食である「お米」の確保が極めて困難な状況です。ご寄附いただけるお米がありましたら、お力添えをお願いします。皆様のあたたかいご支援を心よりお願い申し上げます。

注意点 精米後1年以内を目安とし、未開封で品質に問題ないお米を募集します。



お問合せ 川崎区社会福祉協議会 TEL:044-246-5500

譲ります・譲って下さい

ご協力
ありがとうございます！

福祉用具リサイクル事業

川崎区内にお住まいの方々を対象に、車いす、シルバーカー(手押し車)、介護用ベッド、歩行器等の福祉用具を譲りたい方と譲って欲しい方との間で、無料でご紹介をしています。現在、ポータブルトイレが2つ、登録がございます。



ポータブルトイレ

本会ホームページに掲載する福祉用具を募集しています。福祉用具を譲りたい、譲ってほしい方は川崎区社会福祉協議会までご連絡下さい。

※リサイクルできるものは安全かつ衛生上問題なく、修理を必要としないものに限りです。
※寄附物はお預かりしておりません。譲り先が決定するまではご自宅で保管いただき、決定しましたら直接の受け渡しをお願いしております。



ほほえみコーナー

令和7年11月1日～令和8年2月28日

ご寄附をいただきました。ありがとうございます。

寄附者名

- 大本山川崎大師平間寺 様
- 池田ハルミ 様



川崎区の役立つ福祉情報をお届け

ウェブ

第124号
令和8年5月
[発行部数]
38,500部

●川崎区社会福祉協議会

発行
川崎区社会福祉協議会
川崎区富士見1-6-3読売川崎富士見ビル B-1 棟 6階
電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741
Email kawasakiku@csw-kawasaki.or.jp
川崎区社協ホームページ <https://www.kawasakiku-shakyo.jp/>

区社協HP



[発行人]
島田 潤二
[編集人]
編集委員会

目次

1. 令和8年度(2026年)賛助会員募集
- 2.3. 各地区社協の事業内容
4. 令和8年度(2026年)事業計画
5. 令和7年度(2025年)共同募金運動のご報告 ほかほか通信
6. 身近な地域の障がい者施設・団体
7. 川崎区ボランティア情報紙「いっぽ」
8. 子どもの食糧支援 食糧でつなぐか輪さき区 福祉用具リサイクル ほかほかみコーナー



紙面に関する
お問合せは
こちらまで

さらに住みよいまちにしていくために 令和8年度(2026年)賛助会員募集

社会福祉協議会は、見守り活動や子育て支援、ボランティアの育成、生活に困っている方への相談支援など、地域のさまざまな困りごとに向き合っています。SNSやICT技術の発展で、様々な形でのつながりは生まれていますが、顔の見えるつながりは希薄化しています。

身近な人との顔の見えるつながりは、安心して暮らせる地域を作っていくうえで欠かせない要素です。社会福祉協議会が取り組んでいる、顔の見える関係づくりや、支え合う活動を継続し、さらに充実させていくことが大切になっています。

そこで、みなさまにお願いしたいのが「賛助会員」としてのご支援です。一人ひとりのご協力が大きな支え合いの力になります。

賛助会費は、見守り活動や交流の場づくり、福祉教育、ボランティア活動の支援などに活用され、地域福祉を支える大きな力となります。皆様からのご支援があることで、継続的で計画的な活動が可能になります。

だれもが安心して暮らせるまちを、地域全体でいっしょにつくっていきませんか。社会福祉協議会の活動にご理解をいただき、ぜひ賛助会員としてのご支援をお願い申し上げます。

会費は個人・団体共に1口1,000円からで、複数口の申込みも可能です。

「地域のために何をしたらいいのかわからない…」 「仕事が忙しいけれど地域に貢献したい！」というあなたのご協力を心よりお待ちしております。

賛助会費の8割を地区社協で、2割を区社協事業で活用させていただいております。
●地区社協事業(一部抜粋)
・広報紙発行
・地域福祉懇談会の開催
・ふれあい会食会の実施 等
2.3面をチェック!!

じゃあ自分が住んでいる地域ではどんな活動をしているのかな?

各地区社協の事業については2.3面で詳しくご紹介していますので、そちらも併せてご覧ください!



現会員の皆様には、地域の方が今年度の協力依頼にお伺いいたします(お住まいの地域により時期が異なります)。これから会員になってくださる方は川崎区社会福祉協議会までお気軽にご連絡ください。

川崎区社会福祉協議会 (☎044-246-5500)

各地区社協の事業内容

区内の10の地区社協が行っている事業を紹介します。
これらの事業には、皆様からいただいた賛助会費が使われています。



中央第一地区社会福祉協議会

●福祉学習への協力

近隣の小学校で実施する高齢者疑似体験や車いす体験等の福祉学習の際に、子どもたちが安全かつ効果的に体験できるようサポートや見守りを行っています。高齢者疑似体験では手足に重りやサポーターをつけて体を動かさにくくした状態で歩く子どもたちのサポート、車いす体験では車いすに乗ったり、後ろから押ししたりする子どもの見守りを行っています。地域の子どもたちに顔を覚えてもらう機会ともなっており、地域の子どもと大人と一緒に福祉のまちづくりを進めています。



車いす体験の様子。子どもたちの学習をサポートしています。

大師第四地区社会福祉協議会

●いこい喫茶

オレンジカフェとしての機能を持つ『いこい喫茶』を二か月に一度開催しています。いこい喫茶は、認知症の方やその家族、地域加で、健康に関する講話や楽器の演奏を聴く等、よう各回趣向を凝らしています。今後も近隣にお住まいの方の憩いの場所となり、参加された方同士で情報交換ができる等、地域でのつながりの場となるよう工夫していきます。



民謡と三味線の演奏を鑑賞する様子。素敵な音色にみなさん集中して耳を傾けています。

大師第三地区社会福祉協議会

●ほほえみ元気体操

地区内の神社の敷地をお借りして、毎月第3金曜日(7・8月除く)に川崎区のオリジナル体操である「ほほえみ元気体操」を行っています。ほほえみ元気体操後には、ラジオ体操第1・第2も行い、皆さん楽しく汗を流しています。開催日にはオレンジ色ののぼりを立て、通りがかりの方々の目にも止まるようにしています。今後も近隣にお住まいの方々の健康維持・増進のため、楽しみながら開催していきます。



神社の境内でほほえみ元気体操をしている様子。初めての方も大歓迎です。

中央第二地区社会福祉協議会

●認知症予防カフェ「くろみクラブ」

認知症予防を目的に毎月第3火曜日に開催しています。トランプゲームをしたり、落語を聞いたり活動内容はさまざまです。その後は皆さんでゆっくりとお茶を飲みながらお話ししたり、歌ったりして楽しんでいます。月ごとに地区内の町内会館をまわって実施しています。今後も地区内にお住まいの方々が楽しみながら認知症予防のできる場づくりに努めていきます。



みんなで楽しく体操する様子。気持ち良く、体を動かします。

渡田地区社会福祉協議会

●ほのほの会

渡田地区では毎月第2金曜日に渡田いこいの家で高齢者ミニデイサービス「ほのほの会」が開催されています。地域包括支援センター等の講師をお呼びしての講話や脳トレなどを行った後、渡田地区社協の婦人部の方が用意してくださる昼食をみんなで食べます。昼食後は童謡や歌謡曲等皆さんで歌い楽しんでいます。今後も、ほのほの会を通して、地域の人々と顔の見える関係づくりを築いていければと思います。



ほのほの会の食事の様子。婦人部の方々の料理と周りの方々の会話を楽しんでいます。

大島地区社会福祉協議会

●おにぎりキャラバン

大島地区では地域の方との交流や子どもの生活力を高めることを目的に、「小規模多機能ホーム 縁」をお借りしておにぎりキャラバンを実施しています。おにぎりキャラバンではお米の研ぎ方やおにぎりの握り方、おにぎりに入れる具の栄養について学ぶことができます。昨年度は10月と3月に開催し、両日共に多くの子どもやその家族に来てもらうことができ、笑顔があふれていました。今後も地域の方々と交流ができるようなイベントを開催していきたいです。



親子でお米を研ぐ練習中。お米の大切さやおいしい食べ方を学び、生活力を高めています。

小田地区社会福祉協議会

●研修会

毎年、様々なテーマで開催しています。昨年度は認知症サポーター養成講習を実施しました。認知症の基礎知識や症状の理解、適切な接し方について具体例を交えながら学びました。途中でロールプレイも行い、声をかけるのは難しい」と言う声や、自分自身の経験多くの学びがある有意義な研修会となりました。



認知症をテーマにした研修会の様子。参加者は真剣に話を聞いていました。

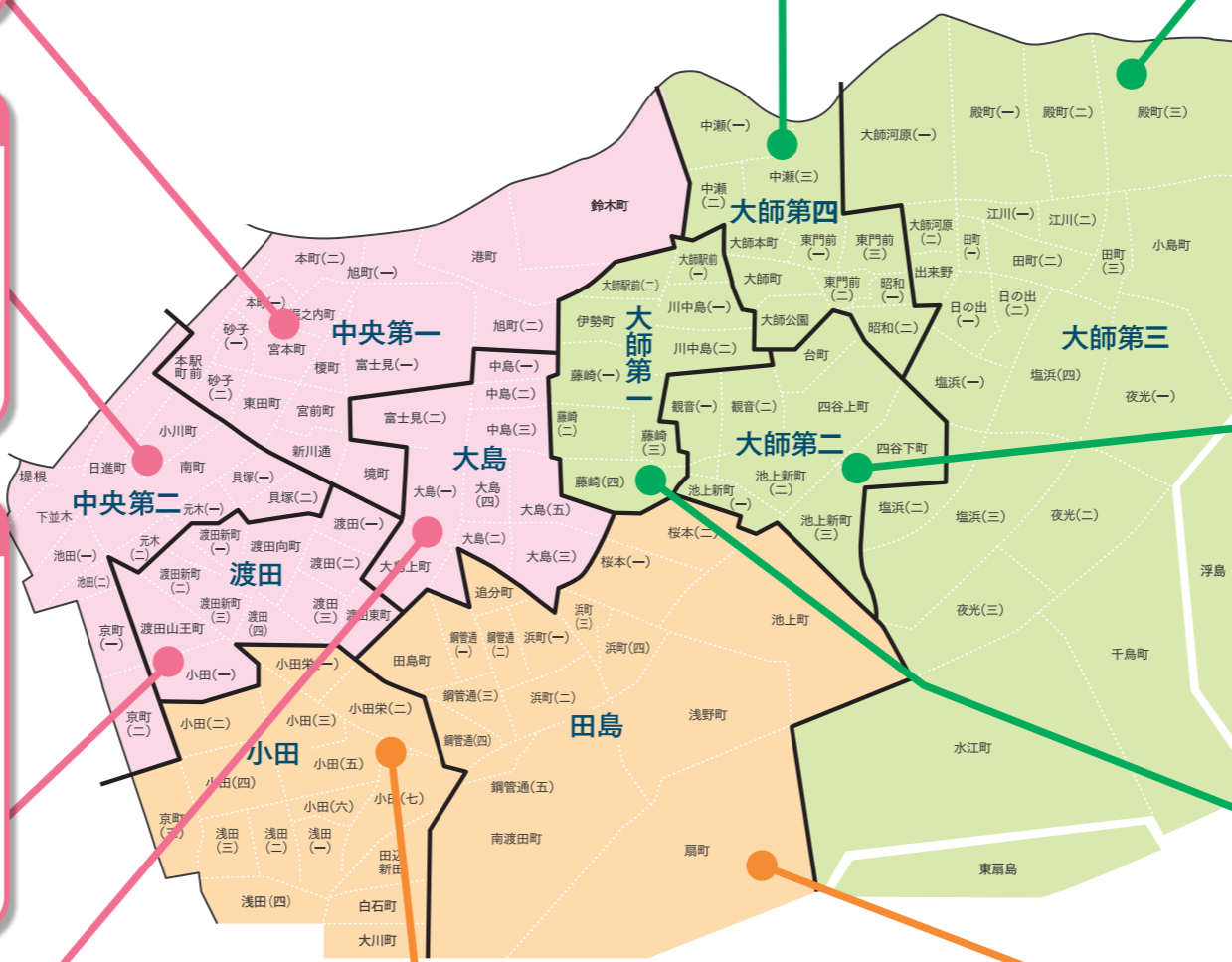
田島地区社会福祉協議会

●福祉のつどい

大島小学校の校庭をお借りして開催しています。地域のみなさまの交流の場として、様々なプログラムを用意しています。町内会自治会による模擬店や、老人部会のベタンク大会、青少年部会のポッチャ大会、関係機関による相談コーナーをはじめ、ステージでは演奏等が行われます。会場に集まった参加者、主催者、来賓も交えて行う、輪踊りはまさに田島地区の人のつながり、一体感を感じます。



プログラムの中の一つ、輪踊りの様子。毎年全員で踊る恒例行事になります。



令和8年度(2026年)事業計画

川崎市川崎区社会福祉協議会

第6期地域福祉活動計画は、川崎市社会福祉協議会の理念・基本目標を全市の共通としていますが、各区の実情にあわせた地域福祉事業の展開においてその機能と役割を互いに発揮ができるように連携をしていきます。

川崎市社会福祉協議会の基本理念

みんなで支え合い
ともに安心してその人らしく暮らせる
川崎のまちづくり
～ともに目指す地域共生社会の実現～

川崎区のめざすところ (川崎区地域福祉計画基本理念)

つながりを育て
安心して暮らせるまち
かわさき区

重点項目

1 総合相談（ふくし相談）

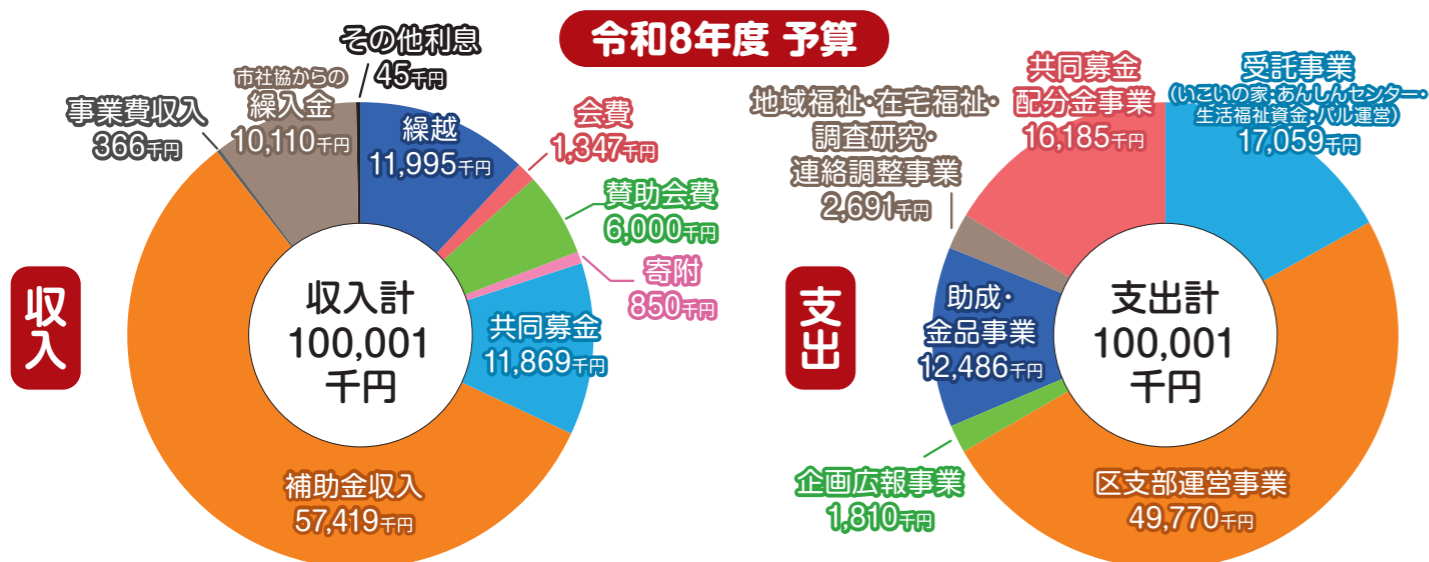
複雑化・多様化する生活上の相談をあるがままに受け入れ、一人ひとりに寄り添い問題の解決を目指します。川崎区の特徴である生活困窮者や外国籍住民の増加、高齢化の進行など、相談内容からデータを分析し、地域特性を踏まえたニーズを把握し、地域における顔の見える関係づくり、地域課題・生活課題を解決できる地域づくりを目指します。

2 地区社協活動の支援・援助

地区社会福祉協議会が主体的に取り組んでいる見守り活動や居場所づくり活動の支援を通じて、生活を取り巻く環境の複雑化、多様化に対応し得る、新たな支え合いの活動についても検討し、身近な福祉活動の推進を図ります。

3 現在・未来の地域の人財づくり

次世代の福祉のまちづくりを担う人材の育成、地域における福祉の理解者を増やすための取り組みとして、小・中学校、地域団体や区内の企業と協働し、福祉教育を進めます。助成金を利用したボランティアグループの育成・後方支援、ボランティア情報の収集や提供により、気軽に参加できるボランティア活動を支援します。また、川崎区社協福祉まつりやおにぎりキャラバン等のイベントを通じ、福祉に触れ合う機会をつくることで、多様な視点を持った人財づくりを目指します。



令和7年度(2025年)共同募金運動のご報告

共同募金実績額

21,230,845円 (令和8年3月15日現在)

令和7年度(2025年)も10月1日から3月31日まで共同募金運動を実施いたしました。半年に渡る期間、多くの皆様から様々なかたちでのご協力をいただきました。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、神奈川県内および川崎区の地域福祉活動のために大切に使用させていただきます。あたたかなご支援をいただき、誠にありがとうございました。

募金はこのように活用させていただいています

川崎区内で活動している子育て支援団体、ボランティア団体、当事者団体のうち、ご申請いただいた団体に対して助成金をお渡ししています。助成金は団体活動費としてご活用いただき、各々の団体の活動をより盛り上げてくださっています。その他にも、

- 地区社協活動費の補助
- 会食・配食・ミニデイケア団体活動費助成
- ボランティアセンター運営費
- 広報紙発行
- 印刷機貸出

等、福祉活動を行う団体への助成金や福祉情報をお知らせする広報、地域の方が利用できる印刷機の貸出まで様々な事業で活用させていただいています。

川崎区役所地域みまもり支援センター保健福祉だより

ちけあ丸について

みんなが支え合い・助け合いながら安心して住み慣れた地域で暮らし続けるための仕組みづくり「地域包括ケアシステム」を広める川崎区のキャラクター

ご近所の集まりにおじゃまします! 川崎区地ケア出前講座のご案内



社会人落語家による落語の様子

川崎区役所 地域みまもり支援センターでは、地域のみなさんがつながり・楽しみ・学べる出前講座を行っています! 気軽に楽しめる落語やみんなで盛り上がる「地ケアすごろく」、いざという時に役立つ防災出前講座、体を動かして楽しめる「ポッチャ・モルック」など、笑って学べて楽しめるコンテンツが盛りだくさん! 町内会、老人クラブ、子育てサークルなど、川崎区内のいろいろな集まりにおじゃましています。「こんなことできる?」「うちの会にも来てほしい!」などのご相談も大歓迎です!

ご希望に沿った内容を企画しますので、お気軽にお問合せください!

問合せ先 川崎区役所地域みまもり支援センター地域ケア推進課
 ☎ 044-201-3203 ✉ 61keasui@city.kawasaki.jp
 🌐 <https://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/page/0000142898.html> (HP)



第7回

ウェブくん
が行く!

身近な地域の障がい者施設・団体 「地域活動支援センター 大師ワークショップ」

について

施設の概要



- 代表者 山本 宣久
- 設立 平成2年
- 利用者人数 16名
- 活動日時 月～金 10:00～15:00 (土・日・祝日はお休み)
- 住所 神奈川県川崎市川崎区大師本町8-15 第一只隈ビル
- 電話番号 044-287-9409

川崎区内の障がい者施設・団体による活動をお伝えすべく、今回も取材へ行ってまいりました!



活動内容

- ボールペンの組み立てや包装等の作業
- イベントの際、販売する作品作り(缶バッジなど)
- ポッチャやバスハイク等のレクリエーション



ボールペンの袋詰め作業の様子

大師ワークショップとは?

大師ワークショップは来所される方にとっての居場所になっていると感じています。日中を家の中で過ごすだけでなく、センターに来ることで協力できる仲間がいるということや、仲間作りのお手伝いができる場所になればと思っています。立地についても川崎大師に近いということもあり、多くの人に立ち寄ってもらえるような場所になっていき、将来的には地域のプラットフォームやステーションのような場所になってほしいと考えています。

利用者の1日の流れ

10:00	通所後、作業開始	13:00	作業再開
11:00	休憩	14:00	休憩
11:05	作業再開	14:05	作業再開
12:00	お昼休憩	15:00	作業終了



通所方法について、歩いてこられる方や公共交通機関を使っている方など、様々な方法で来ています。利用されている方の中には他区から来ている方もいます。

取材後記

大師ワークショップさんに伺った際、とてもゆったりとした時間が流れていました。利用者さん1人1人が集中して作業ができるような空間になっていると感じました。また、お話の中で川崎大師が近いため、二十日大師等のイベントの際に出店を行う等地の利を生かして地域交流を行っているということを知りました。大師ワークショップさんは福祉まつりにも協力いただき、多くの作品を販売いただいています。今後とも一緒に頑張っていきたいと改めて感じました。



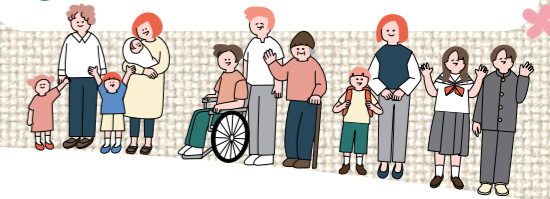
誰もが皆、誰かの力になれる。「はじめよう!ボランティア!」

いっほ

川崎市川崎区社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL 044-246-5500

Mail kawasakiku@csw-kawasaki.or.jp



各種ボランティア講座を開講しました。

川崎区ボランティアセンターでは、様々なボランティア講座を開講しております。昨年度は、2月28日(土)に災害ボランティア講座、3月5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)に読み聞かせボランティア講座を行いました。災害ボランティア講座では座学だけでなく、床板がし体験を行い、実践的なものとなりました。読み聞かせボランティア講座は3回の講義と川崎区内で活躍するボランティア団体による実際の活動の様子を受講者の前で実演していただきました。講義の内容は、読み聞かせの基本や絵本の選び方、また実際に受講生同士での読み合いを行いました。参加者の感想として、「実体験に基づく内容で参考になりました。」や「今後の活動に生かしていけたらと思いました。」という話がありました。今年度についても複数のボランティア講座を開講予定です。ぜひ、ご参加ください。



災害ボランティア講座



読み聞かせボランティア講座

コピー機導入しました!

福祉パルかわさきで、カラーコピー機を導入いたしました。是非、チラシの作成等、様々な事業でご利用ください!



利用可能時間

月・水・金・土 …… 8時30分～17時
火・木 …… 8時30分～21時

料金

白黒	A3以外 ……	5円
	A3 ……	10円
カラー	A3以外 ……	10円
	A3 ……	20円
ステープル	1つ ……	1円

※印刷用紙は各自でご用意下さい。

チャレンジボランティア2026開催します

今年度も学生向けボランティアイベント「チャレボラ2026」を開講します。昨年度は高齢者施設や子ども食堂、こども文化センター等様々な施設や団体に協力いただき、参加者が様々な体験をできる講座を行いました。今年度についても様々な講座を企画中です。今年の夏はボランティア体験をし、楽しく福祉を学びませんか? 5月頃に募集を開始予定ですので、多くの学生のご参加をお待ちしております!

子ども食堂でデザート作り♪



手話体験。あいさつや自己紹介を手話で学びました!